

常任委員会の審査から

本会議で付託された主な議案等について、各常任委員会の主な審査状況を報告します。

総務企画防災常任委員会

横山委員長、金子副委員長、大谷、小林(貴)、大島、荻原、黒川、中山 各委員

議案第46号 平成28年度足利市一般会計補正予算(第1号)について

○議案の内容

歳入、歳出に8億5千200万円をそれぞれ追加し、補正後の額を53億5千200万円にしようとするものである。

《主な補正の内容》

- ・公共施設等整備基金積立金 ……7億円
- ・マイナンバーカード発行に伴うカード作成委託経費の追加 ……3千594万4千円
- ・認定こども園移行施設への民間保育所等施設整備費補助金の追加 ……7千974万8千円
- ・国の補助事業を活用し、介護用具を購入する介護福祉施設等への老人福祉施設整備費補助金の追加 ……1千394万1千円 など

○主な質疑応答

問 マイナンバーカード交付事業費については、平成27年度決算において不用額が生じていたが、今回補正を組む理由は何か。

答 マイナンバーカード等の作成は地方公共団体情報システム機構に委託しているが、平成27年度に同機構のシステムに障害が発生したことにより、業務が遅延し委託料の支払いも減額となった。今回その遅延分も含め、委託料の増額を見込んだものである。

問 民間保育所等施設整備費補助金の歳入財源が国から県の交付金に変わることでの負担が9千万円余増額となるが、この理由は何か。

答 当初、国及び事業者が工事費の2分の1をそれぞれ負担する予定であったが、今回の変更により県が6分の1、事業者が6分の3という負担割合になったことから、市の負担が生じたものである。



○審査結果 原案のとおり可決

民生環境水道常任委員会

大須賀委員長、斎藤副委員長、栗原、中島、小林(克)、渡辺、尾関、平塚 各委員

議案第47号 平成28年度足利市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)について

○議案の内容

国庫支出金等の精算に伴う償還金の追加を内容とするもので、歳入歳出予算に6千870万円を追加し、予算総額を123億6千70万円にしようとするものである。

○主な質疑応答

問 償還金について国、県、診療報酬支払基金へ返還する内訳を聞きたい。

答 国への償還金は、介護給付費負担金分が1千727万円余、地域支援事業交付金のうち、介護予防事業分が137万円余、包括的支援事業分が686万円余の返還となる。

また、県への償還金は、介護給付費負担金分が1千31万円余、地域支援事業交付金のうち、介護予防事業分が68万円余、包括的支援事業分が343万円余の返還となる。支払基金については、介護給付費交付金分が2千720万円余、地域支援事業支援交付金分が153万円余となる。

○審査結果 原案のとおり可決

議案第49号 平成28年度足利市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について

○議案の内容

企業会計移行業務委託の業務価格上昇に伴い債務負担行為を変更するもので、限度額に450万円を追加し、4千750万円にしようとするものである。

○主な質疑応答

問 公共下水道事業が、企業会計に移行することで市民にはどのようなメリットがあるのか。

答 企業会計に移行することで、保有する資産や負債などの正確な数字を把握できる。今後、その数字に基づき、老朽化した下水道設備を計画的に修繕していくことで、市民に余計な負担をかけることなく、安心安全な下水道事業を継続することができると期待している。

○審査結果 原案のとおり可決



▲足利独自のデザインでつくられ、1988年に設置されたマンホールのふた